

行政要望 働ける企業誘致70% 役場事務の合理化55%

【質問】村から特に力を入れてほしいことはどんなことですか。

(表13.) 村から特に力を入れてほしいものベスト3

①側溝、下水道の整備を進める 30.8%	
②都市ガス事業を進める 29.7%	
③公園の整備や緑化を進める 19.6%	
①医療施設の誘致をはかる 35.4%	
②老人いこいの家など村民の憩いの施設を建設する 21.3%	
③定期健康検診の充実、保健指導活動を高める 13.2%	
①公害のない工場を誘致する 37.7%	
②農業後継者の育成、農業資金の充実で農業経営を助長する 29.8%	
③魅力ある商店街形成をはかる 15.8%	
①村民体育館、総合グラウンドを建設する 29.7%	
②家庭教育、子ども会活動を充実して青少年の健全育成をはかる 27.3%	
③高校、大学の進学に村単独の奨学金制度を設ける 11.4%	
①村内に働ける企業誘致を進める 70.2%	
②勤労者福祉施設を建設する 11.4%	
③勤労者の住宅建設利子補給制度を設ける 8.1%	
①役場事務の合理化をはかる 55.2%	
②広報、広聴活動を充実する 16.5%	
③広域常備消防体制を進める。 13.3%	

【質問】子ども(または孫)の将来教育をどのように考えていますか。

高校、大学などの進学について、親の願望は約三五%、子どもの能力次第と答えた人が五八%もあります。こうしたなかで、高校卒業後、専門学校や大学進学を希望する人が約一五%もあり、徐々にではありますが、高学歴社会に進みつつあることがいえます。

【質問】子ども(または孫)の将来教育をどのように考えていますか。

で学びたい、習得したいと思っていることはどんなことですか。

①園芸・盆栽	三〇・六%
②書道	二九・二%
③料理	二八・二%
④子どもの育児しつけ	二七・三%
⑤消費生活の知識	一五・〇%
⑥農・商工業の経営技術	一四・三%
⑦外国語	一一・九%
⑧時事、政治経済	一一・九%
⑨手芸	一一・四%
⑩郷土史研究	一一・四%
⑪テニス	一一・〇%
⑫ゲートボール	一一・〇%
⑬卓球	一一・四%
⑭水泳	一一・一%
⑮スキー	一一・八%
⑯レクリエーションゲーム	一一・〇%
⑰野球	一一・一%
⑱ゴルフ	一一・七%
⑲パドミントン	一一・五%
⑳バレーボール	一一・三%

【質問】老後の生活をどのように考えていますか。

高年齢層は「子どもの扶養で」

中年層は「年金」

若い人は「経済的独立」

(表12.)

子どもや孫の扶養で生活したい	29.7%
年金で生活したい	21.4%
老後に備えて経済的に独立したい	20.9%
その他	17.0%
老人ホームで生活したい	1.0%
無回答	2.6%
わからない	5.9%

【質問】都市施設として、横越村にどんなものがあつたらよいと思いますか。

「消防署」二八・〇%、「図書館」二四・七%、「都市公園」二三・七%がこの三施設に関心が集まっています。

【質問】商業施設として横越村にどんなものがあつたらよいと思いますか。

「スーパーマーケット」四四・六%、「専門店」三五・六%がこの二つが群を抜いています。これらはどこの地区からも多く出されています。

【質問】将来、横越村はどんな村をめざせばよいと思いますか。

従来から横越村は、農業を中心とした純農村という意識が高かったのですが、今回の調査で後退し、「文化施設の村」を希望する声が増えつつあります。

【質問】町制施行の町制施行を望む人もありますが、どう思いますか。

「町に」四八%、「町に」四〇%が四八%、「町に」四〇%と村民の考え方は、拮抗しています。

横越村の将来像

「都市への移行」望む人多い

市街化区域拡大、働ける企業誘致

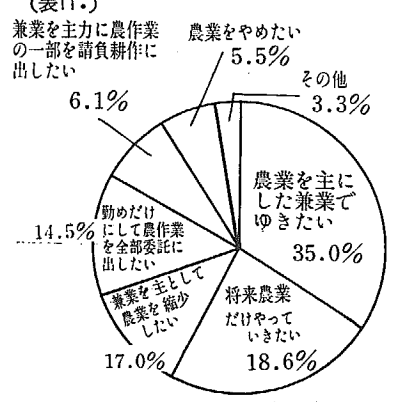
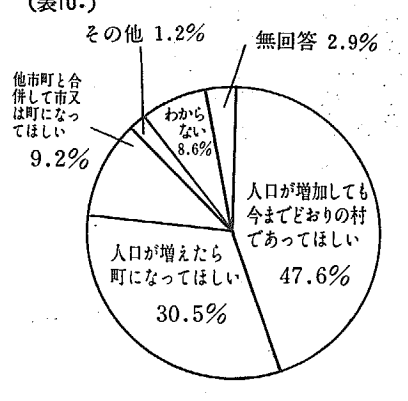
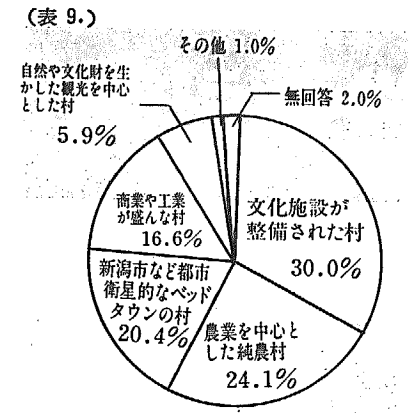
【質問】横越村で自慢する点は何ですか。

「緑豊かな田園風景」と、「北方博物館」は、どこの地区でも多く答えています。他は地域的特色がでていますが、横越、沢海は「阿賀野川の清流と鮭・ます」、沢海、木津二本木は「梨、長芋、チューリップの産地」、小杉は「純朴な村民性」を自慢するとして

(表8.) 横越村の自慢できるものベスト5

①緑豊かな田園風景	48.1%
②北方文化博物館	47.6%
③阿賀野川の清流と鮭・ます	20.9%
④梨、長芋、チューリップの産地	18.9%
⑤純朴な村民性	18.0%

「文化施設の村」がトップ 純農村後退



【質問】将来、横越村はどんな村をめざせばよいと思いますか。

従来から横越村は、農業を中心とした純農村という意識が高かったのですが、今回の調査で後退し、「文化施設の村」を希望する声が増えつつあります。

【質問】町制施行の町制施行を望む人もありますが、どう思いますか。

「町に」四八%、「町に」四〇%が四八%、「町に」四〇%と村民の考え方は、拮抗しています。

【質問】農業経営をどのように考えていますか。

「将来は農業だけで」農業を主に兼業を合せると五四%と高く、農業に対する期待は大きい。特に沢海、木津、小杉、藤駒は、その意欲が高い。

【質問】市街化区域の拡大をどう思いますか。

地域の発展が可能となり町制施行、市街地と若い人に多い「村に」四八%「町に」四〇%

【質問】農業経営をどのように考えていますか。

「将来は農業だけで」農業を主に兼業を合せると五四%と高く、農業に対する期待は大きい。特に沢海、木津、小杉、藤駒は、その意欲が高い。

村上海員学校で生徒を募集

募集人員 高等科約六十名
 修業年限 二九年
 (全寮制)
 願書受付 昭和59年1月4日
 入学試験 昭和59年2月12日
 試験科目 国語、数学、英語(中卒程度)
 受験資格 中卒以上、19歳未満のもの(59年3月中卒見込み含む)
 試験地 村上市、新潟市
 詳しいことは、国立村上海員学校教務課(二八五八一〇) 村上市岩船 電話(〇五五) 六一七六一(四番)へおたずねください。

耳や言葉の不自由な方に「電話お願い手帳」の贈呈

耳や言葉の不自由な方が外出先等で緊急に連絡したいとき、近くにいない人に電話連絡等を依頼しやすくするために「電話お願い手帳」をつくりました。

聴覚障害者(3級)等で手帳を希望する人は、電話局または役場の窓口へお申し出ください。

亀田電報電話局 (八二二二六〇〇)

共同募金

10月1日から

みなさん、十月一日から赤い羽根共同募金運動がはじまります。

あの赤い羽根は、みんなひとり、ひとりがもっている。あたたかい心をあわす助けあいのシンボルです。みんなの助けあい……それは、たとえわずかなお金でもたくさんの方が集まれば大きな力になるのです。

昭和五十七年度は、全国からのまごころで、一九七億円のお金が集まりました。そして、そのお金は、お年寄りの幸せを願って、心身に障害をもった人たちのために、こどもたちの健康やかな発育を願って、私たちの町や村を住みよくなるために、生活に困っている人たちのために、役立てることができました。

今年も、自治会などを通じてみなさんに共同募金のご協力をいただくことになっていきますので、よろしくお願いたします。

赤い羽根共同募金会